

ごあいさつ

おかげさまで、当社は本年、創業140周年という節目の年を迎えました。また、法人としては高野山電気鉄道として設立されてから100周年の節目の年にもあたります。この間、幾度となく社会の大きな変化や戦火、甚大な自然災害など、厳しい経営環境に直面しながらも、当社は地域とともに成長し、地域をはじめとする社会に貢献する企業としての姿勢を貫いてまいりました。

この140年の歩みは、当社グループの先人たちが築き上げてきた努力の賜物であり、同時に、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さま、そして日々の業務に尽力してきた従業員の支えによって紡がれてきたものです。ここに改めて、深い敬意と謝意を表したいと存じます。

さて、当社は2025年4月の泉北高速鉄道との統合を経て、沿線人口の減少をはじめとする社会の激しい変化に対応し、不動産事業と公共交通事業を両輪に、それぞれの事業特性に応じた実行体制の最適化を進めることでさらなる成長を加速させていくために、2026年4月に鉄道事業を分社化いたします。分社化後の当社は「株式会社NANKAI」に商号を改め、不動産事業の飛躍的な拡大や未来探索を通じた事業創出などにより、まちづくり会社としてグループ全体の事業成長を牽引してまいります。一方、鉄道事業会社においては、創業当初からの伝統を継承し、公共交通事業の未来を切り拓いていく存在として、「南海電気鉄道株式会社」の商号と140年の歴史を引き継いでまいります。

この新しい経営体制への移行を機に、これまでの歴史で培ってきた理念をかたちにし、当社グループが何のために存在し、どこをめざしていくのかを明確に示すために、グループ全体の社会的使命を、“私たちは、地域を起点に人々と向き合い、「しあわせな暮らし」を育み、広げ、未来へとつなげます”と決めました。私たちは、地域とともに育ち、地域を支えることで発展してきた企業集団であり、長年にわたり深い信頼と大きな期待を寄せていただいていることを日々実感しています。この社会的使命を「北極星」として、これからも当社グループに関わるすべての人に「しあわせな暮らし」をもたらせるよう、次代に向けて進んでまいりたいと存じます。

本書は、当社グループの140年の歩みを記録し、志を次代へと継承させていく一助とすべく編みました。当社グループの取り組みへの一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

2025年12月



代表取締役会長 兼 CEO

遠北 光彦

刊行にあたって

本年、当社は創業140周年を迎えることができました。

この記念すべき節目の年を迎えられましたのは、日々ご利用いただいているお客さまをはじめとする当社グループに関わるすべての皆さまのご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。

1885年、日本で初めての純民間資本による鉄道会社として、難波～大和川間を開業した阪堺鉄道を前身とする当社は、以来、常に「進取の精神」をもって「次の時代」を切り拓いてまいりました。日本初の冷房車の導入、娯楽施設を併設した大阪球場の建設、レトロフューチャーをコンセプトとした空港特急ラピートの運行、都市に自然を取り込む広大な屋上公園を有するなんばパークス、そして改札機でのタッチ決済の導入や鉄道の自動運転の実証実験など、変化を恐れずかつ挑戦を楽しみながら、新しい価値を創造してまいりました。これらは、時代ごとの南海人たちが使命感を持って自分の仕事に向き合い、挑戦し続けてきた結果です。140年の歴史は、当社グループに脈々と受け継がれてきた、未来を切り拓く「進取のDNA」の軌跡でもあります。

この10年を振り返りますと、世界的に影響を及ぼした新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の困難に直面する中、地域の安心と暮らしを支え続けるため、鉄道、バスの運行を維持するほか、激甚化する自然災害への対策を進めるなど、グループを挙げて社会インフラとしての使命を果たすとともに、「キーノ和歌山」「なんばスカイオ」の開業といった沿線価値向上に向けた取り組みや、自治体をはじめとする皆さまとともに進める「なんば広場」に代表されるグレーターなんば構想、SENBOKUスマートシティ構想、未来探索としての新規事業への取り組みなど、未来へとつながる施策に注力してまいりました。

来年4月、鉄道事業を分社化し新しい経営体制に移行いたしますが、引き続き、公共交通事業のサステナブルな経営と、まちづくりをはじめとする「選ばれる沿線づくり」に、「進取」と「共創」の精神をもって、グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

本書は、140年の節目に、当社グループの歴史を振り返り、これまで培ってきたLegacy（遺産）をFuture（未来）へと受け継いでいくことを目的として編纂いたしました。私たちが受け継いできたものを再認識し、未来への誓いを実現する契機となることを願うとともに、皆さまに当社グループへの深いご理解と一層のご支援をいただけましたら幸甚に存じます。

2025年12月



代表取締役社長 兼 COO

岡嶋信行